

2025年度
慶應義塾大学入学試験問題
商 学 部
地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
(解答例)

(12)

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄

(12)

 の ③ にマークすること。
なお、2 桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。
例えば、空欄

(19)

(20)

 の解答が 3 6 の場合、解答欄

(19)

 の ③ にマークし、解答欄

(20)

 の ⑥ にマークする。
 5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
 6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)
①
②
●
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⊖

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

自動車レースの最高峰とされるフォーミュラワン（F1）。2024年は世界24か所でレースが開催された。その開催国や開催都市は、自動車産業との関連や開催に必要な経済力に加えて、ファンの数、スポンサーの意向、経済効果、地域の多様性など、F1を普及させるための商業的な要因も加味して決定される。

2024年にもっとも多くレースが開催された地域はヨーロッパだ。自動車産業との関わりでは、カタルーニャ州の州都で自動車産業が盛んな〔(1)〕〔(2)〕市郊外で開催したスペイン、旧共産主義国でEU加盟後自動車生産が伸びた内陸国の〔(3)〕〔(4)〕での開催が挙げられる。ドイツ国内をメインにEU各地の主要都市を結ぶ鉄道である〔(5)〕〔(6)〕など、EU域内は国境を越えた交通網が発達し、EU域内でのF1ファンの移動は容易である。開催地の数が限られることもあり、自動車メーカーの企業城下町として知られる、中北部の〔(7)〕〔(8)〕市を抱えるドイツや、自動車生産には欠かせない良質な鉄鉱石の産出地である〔(9)〕〔(10)〕のあるスウェーデンなど、自動車関連産業との関係が深い国でも、2024年は開催されなかった。

(ア)アジア地域では2024年、シンガポール、中国、そして日本でF1は開催された。シンガポールは1965年に〔(11)〕〔(12)〕から分離独立し、工業化が進んでいる。〔(13)〕〔(14)〕工業団地がその典型例だ。同国は2016年の統計では〔(15)〕〔(16)〕について人口密度が高く、F1は観光客誘致を目的に開催されている。

南北アメリカ大陸では、カナダで1回、アメリカ合衆国では〔(17)〕〔(18)〕州のラスヴェガス、西経100度より東に位置し、ケッペンの気候区分では〔(19)〕〔(20)〕に属するテキサス州オースチン近郊など3回、中南米ではメキシコとブラジルでそれぞれ1回開催された。中南米諸国は(イ)さまざまな広域的経済統合を行っているが、概して貧富の差が大きく、1960年までブラジルの首都だった〔(21)〕〔(22)〕にはスラム街が広がっている。F1は(ウ)アメリカ合衆国のICT系企業がスポンサーになることも多く、それら企業の意向で同国内での更なる開催が検討されている。ミシガン湖の西岸に面した〔(23)〕〔(24)〕市もその候補だ。

開催地域の多様性を表す例としては、アルメニアと〔(25)〕〔(26)〕紛争を経験してきたアゼルバイジャンが挙げられる。同国は主として中央アジア諸国の石油を(エ)BTCパイプラインを通じてヨーロッパに供給している。かつてオリンピックも開催された、黒海に面したロシアの保養地〔(27)〕〔(28)〕でもF1は開催されていたが、〔(29)〕〔(30)〕紛争が激化した2022年から中止されている。

2004年以降増えているのが、高級車販売が好調な中東地域での開催である。2024年は、輸出総額に占める天然ガスの割合が、2019年の統計で5割を超える国である〔(31)〕〔(32)〕や、〔(33)〕〔(34)〕を首都とするアラブ首長国連邦など4か国で開催された。この地域におけるF1レースは、イスラム教徒に配慮し、イスラム教の五行のうち、1年の中で行う時期が決まっている巡礼と〔(35)〕〔(36)〕に開催日が重ならないよう、2025年は日程調整することが発表されている。

近年の環境問題への対応のため(オ)2026年にF1の燃料はガソリンからバイオ燃料に移行する。〔(37)〕〔(38)〕につぐ世界第2位のバイオ燃料生産国のブラジルでは、主として〔(39)〕〔(40)〕を原料にバイオエタノールを生産し、ガソリンとバイオエタノールのどちらでも走行可能な〔(41)〕〔(42)〕が普及している。

F1に限らず、現代の各種スポーツイベントの開催地選定では、経済的要因のみならず、そのイベントを発展させるための商業的要因も関係している。経済学も商業学も学べる商学部は、だから面白い。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (41) (42) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 BS	12 BW	13 Cfa	14 ICE
15 TGV	16 アブダビ	17 アメリカ合衆国	18 アルゼンチン
19 イェリヴァレ	20 イギリス	21 ヴォルフスブルク	22 ウクライナ
23 オーストラリア	24 カオシュン	25 カタール	26 カリフォルニア
27 クウェート	28 クリミア	29 ケソン	30 コソボ
31 ザカート	32 サトウキビ	33 サンパウロ	34 シカゴ
35 ジュロン	36 スロベニア	37 ソチ	38 大豆
39 チェチェン	40 デトロイト	41 トウモロコシ	42 ドーハ
43 ドバイ	44 ナゴルノ＝カラバフ	45 ナルヴィック	46 ネヴァダ
47 バーレーン	48 ハイブリッド車	49 バチカン市国	50 ハラール
51 バルセロナ	52 ハンガリー	53 ピッツバーグ	54 ビルバオ
55 フレックス燃料車	56 フロリダ	57 ポーランド	58 マドリード
59 マラケシュ	60 マレーシア	61 ミュンヘン	62 モナコ公国
63 ヤルタ	64 ユーロスター	65 ラマダーン	66 リオデジャネイロ

問2 下線部 (ア) について、以下のアジアの自動車生産国のうち、2018年の国別の自動車生産台数を多い順に並べた場合、上位から2番目になる国はどこか。該当する国を以下の語群より選び、解答用紙 A (マークシート) の (43) にマークしなさい。

《語群》 1 インド 2 韓国 3 中国 4 日本

問3 下線部 (イ) について、以下の南米4カ国のうち、南米の域内経済統合の一つである MERCOSUR に加盟しているが、その資格が2024年4月1日時点で停止されている国はどこか。該当する国を以下の語群より選び、解答用紙 A (マークシート) の (44) にマークしなさい。

《語群》 1 ウルグアイ 2 パラグアイ 3 ベネズエラ 4 ボリビア

問4 下線部 (ウ) について、GAFAとよばれる4大ICT企業群の中で2018年の売上高に占めるハードウェアの割合が最も高い企業はどこか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問5 下線部 (エ) について、このパイプラインの名称であるBTCは、3つの都市の頭文字である。このうち、CとTの都市が属する国はどこか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問6 下線部 (オ) について、バイオ燃料の生産拡大が、人々の生活と地球環境に及ぼす「負」の影響について40字以内で説明しなさい。解答は、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

Ⅱ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

繊維工業とは、綿花、羊毛、ナイロンなどの繊維原料を加工する工業であり、紡績、織物（織布）、縫製の三つの部門からなる。また、衣服の生産と流通をあわせて、アパレル産業と呼ぶ。(ア)繊維は、綿糸や麻・生糸・毛糸などの天然繊維と、20世紀以降発明された化学繊維に大別される。衣服の原材料に用いられる天然繊維は各地の気候の特徴に大きく依存する。乾燥地や高地では、羊の毛やアンデス山脈で飼育される(45) (46) の毛などが、熱帯から温帯にかけての地域では、通気性や吸湿性にすぐれた綿や麻が素材として使用されている。たとえばベトナムの民族衣装の(47) (48) には麻や絹が生地に使われている。木綿の原材料となる綿花は、生育期においては気温が(49) (50) く、降水量が多く、収穫期は湿度が(51) (52) い気候の地域で古くから栽培され、2014年には生産量の約(53) (54) %がアジアで生産されている。インド半島のデカン高原においてはレグールと呼ばれる(55) (56) を母材とした肥沃な(57) (58) がひろがっており、綿花の栽培に適している。織物に関しては、14世紀イギリスでは(59) (60) に恵まれた地域で毛織物工業が発達した。その後、19世紀に入ると蒸気機関が導入され、燃料となる石炭産地の(61) (62) 地域では(63) (64) 川を様々な用途で利用して綿織物工業が発達し、マンチェスターなどの工業都市が生まれた。

現代の繊維工業は総じて(65) (66) 型の工業であり、1980年代以降は先進国から発展途上国への生産拠点の移動が顕著になり、2019年のデータでは(67) (68) が世界最大の繊維工業国となっている。(イ)主要生産地域である東南アジアでは輸出を条件に企業を誘致する工業団地の整備が進められ、繊維工業が発展している。この東南アジアの経済成長の背景には、同地域における経済連携協定がある。1967年にはASEANが結成され、1990年にはシンガポール、マレーシア、(69) (70) の3か国で「成長のトライアングル」計画が発足した。1993年には(71) (72) の提唱で域内の貿易関税を低く設定することを目的に(73) (74) が創設され、2015年にはさらなる域内経済協力の強化を目的とした共同体が設立された。

アパレル産業全体でみると、主な市場は先進国であるのに対して、生産の大半は発展途上国で行われており、消費地と生産地の相違がみられる。先進国のアパレルメーカーは(ウ)ファブレス企業になっていることもあり、ほかの立地条件が同じであれば、(75) (76) が低い国・地域に契約工場を置くことが競争上優位となる。南アジアでガンジス川河口にある都市の(77) (78) において縫製工場が急増しているのもこうした理由である。

アパレル産業における国際分業は生産コストの低下をもたらしたが、SDGsの観点から見ると、衣料品はその製造過程から廃棄過程に至る全体において、解決すべきさまざまな課題がある。たとえば、(エ)化学繊維の生産には石油や水などの天然資源を大量に要する。また、アパレル産業の製造過程・廃棄過程で大量のCO₂が排出されるが、そのことは地球温暖化につながる。こうした状況から1997年に開催された気候変動枠組み条約の会議では、(79) (80) が採択され、さらに2015年には、すべての国・地域が参加する国際的な枠組みである(81) (82) が採択された。より手軽にファッションを楽しめるようになった私たちの日常生活は、環境問題をはじめとする社会課題と密接に結びついている。

問1 文中の空欄 (45) (46) ～ (81) (82) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 50	12 70	13 90	14 AEC
15 AFTA	16 RCEP	17 アオザイ	18 アルパカ
19 インド	20 インドネシア	21 ウイーン条約	22 塩性土壌
23 関税	24 間帯土壌	25 京都議定書	26 輝緑岩
27 原材料費	28 玄武岩	29 原料指向	30 交通指向
31 サリー	32 市場指向	33 シンガポール	34 人件費
35 水力	36 成帯土壌	37 石灰岩	38 タイ
39 高 (たか)	40 ダッカ	41 チェンナイ	42 チャドル
43 中国	44 ツイード	45 天候	46 パリ協定
47 ハンバー	48 低 (ひく)	49 風力	50 ベトナム
51 マージ	52 ミッドランド	53 ムンバイ	54 モントリオール議定書
55 ヤク	56 ヨークシャー	57 ランカシャー	58 労働力指向

問2 下線部 (ア) について、2016年の世界の繊維生産において、最も割合が高い繊維は以下のどれか。該当する繊維を以下の語群より選び、解答用紙 A (マークシート) の (83) にマークしなさい。

《語群》 1 ナイロン 2 ポリエステル 3 綿 4 羊毛

問3 下線部 (イ) について、2019年時点で同地域における輸出品のうち「衣類」の割合が50%を超える国はどこか。該当する国を以下の語群より選び、解答用紙 A (マークシート) の (84) にマークしなさい。

《語群》 1 インドネシア 2 カンボジア 3 ベトナム 4 ミャンマー

問4 天然繊維の生産地は気候の特徴に依存する。直交座標の縦軸に月別の平均気温、横軸に月別の降水量をとり、各月の点を月の順に結んで気候の特徴を視覚的にとらえるグラフを何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問5 下線部 (ウ) について、「ファブレス企業」とは何か。30字以内で説明しなさい。解答は、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問6 下線部 (エ) について、原材料の栽培、生産、製造、加工、輸送、流通、消費、廃棄、リサイクルまでの過程で使用された水の総量を的確にとらえるために考案された概念を何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

ヨーロッパにおいて政治や経済などのあらゆる側面で中心的な存在となっているのがEU（European Union：ヨーロッパ連合）である。ヨーロッパ諸国は単独では規模が小さく大国に対抗できないが、EUの存在により、例えば2019年時点で (85) (86) ではアメリカ合衆国を上回るなど、政治や経済の面で大国に拮抗する力を持つようになっている。

EUの存在は加盟国にどのようなメリットをもたらしているのか。例えば政治の面で見れば、EUは意思決定や立法を担当し、 (87) (88) 条約で設置されたEU大統領が議長を務めるEU理事会など複数の機関によって運営され、また行政機関のトップには欧州委員会委員長が位置し、 (89) (90) に参加するなど対外的な役割を果たしており、EUの発言力を大きいものとしている。

加盟国には経済面でもメリットがある。例えば農業について見てみよう。元来、ヨーロッパの中央部はおおよそ緯度 (91) (92) 度に分布する西岸海洋性気候であり、四季を通じて降水量が少ないため、 (93) (94) から発展した商業的な混合農業が盛んであったが、現在では穀物生産や畜産の専門分化が進んでいる。一方地中海側では、 (95) (96) に強いオリーブなどの樹木作物や小麦の栽培などを行う地中海式農業が営まれている。また (97) (98) やオランダでは輸出を視野に入れた大規模な酪農が行われ、都市近郊では園芸農業も盛んである。これは、農地が少ない市場の近くでは園芸農業などの (99) (100) が立地することを指摘したドイツの経済学者 (101) (102) の農業立地モデルに沿うものである。域内の農業保護と食料の安定供給を目的とした共通農業政策が進められたことでEU域内の農業は保護され、EUの (ア)食料自給率は高い水準を保つようになっている。他方、EUは食の安全に対する意識が高く、遺伝子組み換え作物は (103) (104) 以外栽培されていない。また、農村景観の維持への意識も高く、都市住民が農村の景観や暮らしを楽しむ (105) (106) も積極的に推進されている。

次に産業などの面から見てみよう。元来、ヨーロッパの第二次世界大戦後の高度経済成長を実現したのは、北フランス、ルール、 (107) (108) を結んだ重工業三角地帯と呼ばれた地域であった。このような工業地帯の存在は、ドイツの経済学者 (109) (110) による「工業立地論」の主張と符合するとも言えるが、高度経済成長期の後、従来の工業地域は停滞し、工業立地は著しく変化している。例えば「ヨーロッパの (111) (112)」と呼ばれる地中海沿岸地域では航空機、電子などの技術集約型産業や研究機関の集積が進んでいるし、イタリアでは (113) (114) などの中部・北部の地域が「第三のイタリア」として注目されており、代表的な産業として機械や繊維、 (115) (116) などがある。またEUの多くの国で第三次産業の従事者が6割を超えるようになり、例えば (117) (118) はICT産業の先進国となっている。EUが成立したことで域内関税が撤廃され、また域内の企業や市場を保護する共通通商政策が進められたため、EUが (イ)一つの経済圏として成長するようになったのである。

以上、EUの成立による政治や経済上のメリットを見てきたが、他方でEUの拡大には課題もある。近年域内の経済格差が問題となっており、格差是正のために、例えば1人当たりの国民総所得（GNI）がEU平均90%未満の加盟国に対して分配される (119) (120) が導入されている。また (ウ)外国人労働者や移民・難民の問題が表面化し、 (121) (122) など、自国の利益を優先して外国人を排斥する動きが目立つ国も出てきている。さらに (エ)2020年にはイギリスがEUを離脱するなど、混乱も見られる。

問1 文中の空欄 (85) (86) ～ (121) (122) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より
 選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|-------------|--------------|----------------|-------------|
| 11 30-50 | 12 40-60 | 13 50-70 | 14 GDP |
| 15 ウェバー | 16 エコツーリズム | 17 エストニア | 18 欧州地域開発基金 |
| 19 革製品 | 20 結束基金 | 21 ケッペン | 22 高温乾燥 |
| 23 高温多湿 | 24 国連安全保障理事会 | 25 サミット | 26 サンベルト |
| 27 三圃式農業 | 28 ジャガイモ | 29 集約的農業 | 30 食料品 |
| 31 シリコンヴァレー | 32 人口 | 33 スペイン | 34 粗放的農業 |
| 35 大豆 | 36 タラント | 37 チューネン | 38 低温乾燥 |
| 39 デンマーク | 40 トウモロコシ | 41 トルコ | 42 ナポリ |
| 43 二圃式農業 | 44 ハンガリー | 45 ブルガリア | 46 ボローニャ |
| 47 マーストリヒト | 48 マルサス | 49 ミッドランド | 50 面積 |
| 51 窯業 | 52 ラトビア | 53 リサーチトライアングル | 54 リスボン |
| 55 リトアニア | 56 ルーマニア | 57 ルーラル・ツーリズム | 58 ロレーヌ |

問2 下線部（ア）について、食料需給表に基づいた2013年のヨーロッパ諸国の品目別食料自給率について、
 肉類に関する食料自給率が100%未満の国はどこか。該当する国を下の語群より選び、解答用紙A
 （マークシート）の (123) にマークしなさい。

《語群》 1 イギリス 2 オランダ 3 スペイン 4 ドイツ

問3 下線部（イ）について、2019年のEU（イギリスを含む）の域内貿易比率（出所：EUROSTATほか）
 は何割以上何割未満か。該当する数字を下の語群より選び、解答用紙A（マークシート）の (124)
 にマークしなさい。

《語群》 1 4～5 2 5～6 3 6～7 4 7～8

問4 下線部（ウ）について、ドイツにおいて1960年代にトルコなどから来た外国人労働者をドイツ語で
 何というか。解答は、解答用紙Bの所定の欄にカタカナで書きなさい。

問5 財務省貿易統計による2020年のEU諸国から日本への輸入（2月以降はイギリスを除く）において
 最も金額の割合が大きい貿易品は何か。解答は、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問6 下線部（エ）について、EU離脱によりイギリスにとって懸念されると思われることを、企業、労働
 者および人口の観点から40字以内で説明しなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

《以下余白》